



平成30年1月31日

各位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 浦田 泰生
 (コード番号:4588)

問 合 せ 先 取 締 役 小 林 直 樹
 財 務 担 当
 (TEL.03-5472-1578)

業績予想の修正及び営業外費用(為替差損)の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年2月8日に公表しました平成29年12月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。また、平成29年12月期第4四半期累計期間(平成29年1月1日～平成29年12月31日)において、営業外費用(為替差損)を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 通期業績予想の修正について

(1) 業績予想数値の修正(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成29年2月8日発表)	百万円 200	百万円 △1,400	百万円 △1,400	百万円 △1,400	円 △152.08
今回予想値(B)	229	△1,078	△1,087	△1,090	△106.23
増減額(B-A)	29	322	313	310	—
増減率(%)	14.5	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成28年12月期)	178	△861	△864	△931	△101.18

(2) 修正の理由

今期の売上高につきましては、医薬品事業および検査事業における既存ライセンス契約に基づくマイルストーンフィー等の受領により、前回予想値を上回る見込みです。一方利益面につきましては、開発経費及び特許関連費用の効率化による適切な圧縮と、主に米国における研究開発の遅延、更に円高による販管費の減少見込み並びに第4四半期累計期間における営業外費用(為替差損)の計上から、平成29年12月期通期業績予想値をそれぞれ営業損失1,078百万円、経常損失1,087百万円、当期純損失1,090百万円へ修正いたします。

2. 営業外費用（為替差損）の計上について

(1) 営業外費用（為替差損）の内容

当社は当第4四半期累計期間（平成29年1月1日～平成29年12月31日）において、外国為替相場の変動による為替差損9,441千円等を営業外費用に計上しました。これは、主に当社の保有する外貨建て現金の評価替えにより発生したものです。

(2) 業績への影響

営業外費用（為替差損）の計上による平成29年12月期通期業績への影響は、上記「1. 通期業績予想の修正について」記載の経常損失1,087百万円に織り込んでいます。なお、「平成29年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」は、平成30年2月9日に発表を予定しています。

以上

※上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって変動する可能性があります。